

協働学習 児童生徒実践型

実践タイトル グループ調べのクラス共有と個の学習表現

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

・全体地図をタブレットPCに転送し、手で全体地図を見せる。また、まとめをタブレットPCに配布したノートにまとめる。

静止画(消火設備の場所を示した地図)

・消火設備のある場所を地図上に示すことで、設置されている間隔や、数、場所などのきまりに気付かせる。

参考にしてほしいポイント

- ・地図の作成では各グループで調べた範囲(地域)を決めて行き、それぞれの調べたことを地図上にプロットする。他のグループの児童も興味を持って聞くことができたとともに、その地図をつないで全体の地図を作ることは、他グループとの違いや全体を見通す力をつけるのに有効であったと感じる。課題としては、全体地図をタブレットPCで見ると画面が小さく、地図も細かくなったため拡大する機能を習得する必要がある。
- ・児童が特徴を示す際に、写真もすぐに取り込んで書き込むことができるので、資料作成には、とても分かりやすく有効である。
- ・映像の利用も行い、注意すべき点の定着にもつなげた。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 2	・地区をまわった時の様子を振り返るようにタブレットPCのノートを開き、本時に行うことを確認する。	・消火設備の場所を示した地図をタブレットPCで開く
展開 2 35	・グループごとに消火設備の場所をまとめた地図を電子黒板に表示し、消火設備の写真を液晶テレビに表示して、調べてきたことを発表する。 ・各グループが発表した消火設備の場所を、1枚にまとめた地図を見て、地区の防火設備の特徴を考える。 ・疑問に思ったことや、もっと知りたいことなどを問う。 ・疑問に答える消防士さんのインタビュー映像を流す。	・電子黒板に地図、液晶テレビに防火設備の写真を掲示(写真1)  ・電子黒板で消防士さんのインタビュー映像を再生
まとめ 35 45	・本時で分かったことを、タブレットPCのノートにまとめる。 ・本時で分かったことを、発表する。	・タブレットPCのノートに書き込む(写真2・3)



写真1: 消火設備の場所を示した地図を画面転送して電子黒板で発表。その場所の写真を液晶テレビに表示



写真2: わかったことをタブレットPCにまとめる

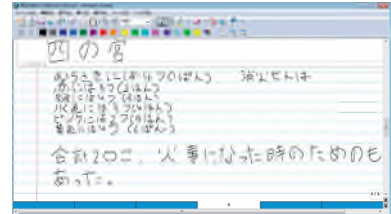


写真3: 児童がまとめたノートの一例

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・児童がグループで作った地図を示しながら発表でき、結果を全体地図にまとまっていく様子が、電子黒板と板書の両方で確認できたため、視覚で理解をし、特徴を予想したり考えを深めたりするために有効であった。
- ・グループで調べたことが全体地図に表示され、実際にタブレット上に配布できたことで一人ひとりが身近なところで見て、考えることができよかった。
- ・タブレットPC上に、重要な部分は色を変えて説明に工夫をする姿が見られた。
- ・児童が本時、疑問に思ったことの答えを録画した映像(児童の質問をあらかじめ想定して準備したもの)の中から選択して見ることができたことは、すぐに疑問が解決されて考えを深めることに有効であった。

活用効果

評価の観点	・社会的な思考・判断・表現	具体的変容	・地域に出て気付いたことをタブレットPCのノートにまとめる際、写真や地図に印を書き込むなど工夫したことで、グループ発表では言葉で表現することに加え、視覚表現を取り入れ発表することができた。
-------	---------------	-------	--

実践の手応え

- ・表現方法のひとつとして言葉だけでなく、写真や文字で示すことで表現できたことは、言葉で表現することが苦手な児童にとってとても有効であった。また、書いたものが大きく表示されたり、実際に、行かなければ見られないものを画像や映像で見ることができたりするという点も、学びをスムーズにしたと感じる。